

に広く分布することが明かになった。本種の特徴は子柄の盃の中心から反覆発芽して階段を作ることは *Cl. calycantha* に似て居るが連続する皮層を欠如し、内髓は大部分裸出し表面には綿毛性でもなく粉芽もないが唯ゴニヂアを含む細微顆粒を散布して居り時を経るに従て内髓は下部から黒変して来る。以上の諸性質を検討中に日本産地衣の中にも之に似たものがあることに気附た。それは筆者が本誌 31: 323 (1956) に発表した *Cladonia calycantha* var. *gracilior* と呼だものゝ大部分は子柄の構造がこの *gymnopoda* と全く同一で唯盃の凹みが稍々深く且つ子柄の上半が彎曲する等の違う点も少くないので之を *pseudogymnopoda* と命名した。又この種の内で子柄の上節が下屈し上部の側面から新に発芽し殊に鱗片を多く発生するものがあるがこれを subsp. *recurvans* と命名した。

なお此の *Cladonia pseudogymnopoda* は従来気附かれなかった本邦産の顯著な種であるにより茲に従来已知の産地を記録し参考に供することにした。

*Cl. pseudogymnopoda* (Asah.) Asahina の産地 (M.T.=富権誠)。上野, 北甘楽郡月形村, 植松栄次郎 1926; 京都一乗寺武田農園, M.T. 1954; 丹波, 多紀郡丹南町上龍藏寺, M.T. 1957; 紀伊, 西牟婁郡富里村和田, M.T. 1969; 阿波, 海部郡海南町, カレイ谷裏神社, M.T. 1955; 阿波, 海部郡川上村樫谷, M.T. 1957; 阿波, 名東郡佐那河内村, 伊延 1940; 阿波, 海部郡宍喰町貧田山, 伊延 1962; 伊与, 新居郡角野町, 越智 1943; 土佐, 安芸郡北川村, 藤川 1931.

Subsp. *recurvans* (Asah.) Asahina の産地 (M.T.=富権誠)。京都市郊外大原, M.T. 1954; 丹波芦生, 京大演習林, 朝比奈 1942; 紀州, 西牟婁郡富里村和田, M.T. 1969; 紀州, 西牟婁郡近野村広見, M.T. 1969; 紀州, 西牟婁郡富里村宇井郷, M.T. 1969; 阿波, 名西郡神山町持部畠山, 伊延 1964; 伊与, 新居郡角野町東平, 越智 1943; 台湾, 台北州角板山, 緒方 1924; 新竹州竹東郡タコナン, 島田 1928.

□鈴木昌友: 茨城の植物 A5 490 ページ, カラーポ絵 8 図, 茨城新聞社 45.7.1. 発行, 1,500 円。著者は茨城大学教育学部勤務。茨城県産植物の分類学的ならびに地理学的研究を行なっている人。本書は単なる目録や植物誌でなく, いろいろな方面, 特に分布論や生態などから詳しく述べて、また初心者にもよくわかる解説が加えられている。ほとんど各ページごとに図や写真がはいっていて、めくるだけでも楽しい書物である。地方植物誌としてのみならず、農林業、観光、理科教育などに關係する人々に参考になると思う。

(伊藤 洋)